

令和5年度 第2回東郷町在宅医療・介護連携推進部会：議事録

日時	令和5年10月10日（火）14時00分～15時30分
場所	東郷町役場3階 政策審議会室
出席者	委員 ※敬称略、順不同 松浦誠司 医師（東名古屋東郷町医師会） 松尾健生 歯科医師（愛豊歯科医師会東郷支部） 佐藤裕美 薬剤師（東郷町薬剤師会） 福島美佐子 訪問看護師（東郷町訪問看護連絡協議会） 逸見紀子 東郷町北部地域包括支援センター 荒川和枝 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑 朝倉隆行 居宅サービス関係（メドック東郷） 松山陽二 居宅介護支援事業所（介護支援もみの木） 池田寛 有識者（豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし） 中村万季 訪問看護師（東郷町国民健康保険東郷診療所訪問看護ステーション） 早川孝志 介護支援専門員（東郷町介護支援専門員連絡会） 磯村淳子 訪問介護事業所（マリアンヌヘルパーステーション） 久田智之 理学療法士（東郷町リハビリテーション連絡協議会） 村井良則 オブザーバー（東名古屋医師会在宅医療介護総合研究センターやまびこ）
欠席者	なし
傍聴者	なし
事務局	高齢者支援課長（進行） 高齢者支援課職員 3名
議題	1 報告事項 (1) 在宅医療・介護マップについて (2) 在宅医療・介護連携周知啓発 出張講座について (3) 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしの活動進捗状況について 2 議題 (1) 令和5年度在宅医療・介護連携推進部会医療・介護フェアについて
配布資料	次第 資料1 東郷町在宅医療・介護マップ（案） 資料2－1 在宅医療・介護連携普及のための出張講座について 資料2－2 在宅医療介護連携周知啓発 出張講座チラシ（案） 資料3 豊明東郷医療介護サポートセンター「かけはし」事業について 資料4－1 在宅医療・介護フェア当日の流れ（案） 資料4－2 在宅医療・介護フェア講演会に係る内容について（案）

第2回在宅医療・介護連携推進部会（10/10）まとめ

1 あいさつ（部会長）

2 報告事項

在宅医療・介護マップについて

在宅医療・介護連携周知啓発、出張講座について

豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしの活動進捗状況について

3 議題

（1）令和5年度在宅医療・介護連携推進部会医療・介護フェアについて

●日程

令和6年2月4日（日）

場所：イーストプラザいこまい館 多目的室A・多目的室B

●内容

〈午前〉

- ・希望者のみで、丹野氏と認知症本人の本人ミーティングを予定。家族は専門職や介護者同士で別室で交流の時間を設けたい。丹野氏を交えて、家族向けの交流会の実施も検討。
- ・午前11時40分終了予定。
- ・休憩室としていこまい館の和室を1日確保している。

〈午後〉

- ・午後の講演会は1時に受付開始予定。
- ・第1部では、「認知症とともに笑顔で生きるヒント」を仮タイトルとし、認知症当事者としての思いや支援者に期待することについて、丹野氏による講演を予定。
- ・第2部では、「認知症の診療と在宅医療の実際」を仮タイトルとし、丹野氏の講演を受けて実際の認知症の診療や在宅医療について遠藤医師による講演を予定。
- ・第3部では、丹野氏と遠藤医師にご登壇いただき、認知症についてや在宅医療についての質問を専門職やご家族の方などから事前に集め、質疑応答形式で進めていく予定。

〈情報コーナー／展示〉

- ・8月に豊明市で実施された講演会を参考に、情報コーナーを設け、医療介護連携の情報、在宅医療介護マップ、住民への周知啓発（昨年度ブースで出していたような情報を載せる）など周知できればと考えている。
- ・展示は多目的室Bで行う。
- ・展示は午前午後いつでも見られるようにしたいと思っているが、講演会中に見に来る人がいるかという問題もあり。
→朝から通しでやると人員が2倍となるため、一番動きのある午後からの展示でもよいか。

〈講演会後〉

- ・各部会員と丹野氏、遠藤先生と和室で交流会の実施を考えている。

〈その他ご意見等〉

- ・展示はした方がよい。人員を考えると動きのある午後からの展示でよい。
- 展示したいものがあれば事前に連絡を。
- ・参加者について、若年性認知症の方など、年齢に関係なく参加可能である。
- ・今回のフェアにご協力いただける方について、部会の連絡とは別で照会する（部会員以外でも可）。
- ・午前中の交流会などご協力いただける方はお知らせいただきたい。

（２）令和６年度医療・介護フェアについて

●テーマについてのご意見

- ・専門職がいかに関わられるかという事についてはどうか。
- ・入退院時の連携についてはどうか。
- ・災害だとテーマがしぼりきれないことと、一般の方に情報提供しきれない不安が残るため、一般の方が接することがないテーマとして看取りやグリーフケアがよいのでは。施設か病院か在宅か、どこで看取るのかについて。
- ・令和５年度が講演会なので、映画があってもよい。
- ・ヘルパー・ケアマネの不足により専門職で地域が支えられなくなってくると考えると住民にどう働きかけていくかというテーマがあるが、在宅医療介護連携ではないといわれるか。
- ・看取りにおいて在宅医療と入院との違いとして、入院では医療的な安心感があるが、在宅医療だと好きなものに囲まれて生活できるという点など、比較してメリットデメリットがあるという話はどうか。
- ・今年はＢＣＰの作成があるため、災害をテーマにしてほしい。
→一般の側からしたらＢＣＰは関係ないので、災害とすると絞りにくい。
- ・成年後見人も含め、最期をどうするのかというのも必要か。緊急時の連絡をどうすれば良いかなどがあれば皆さんの疑問が少し解決するのではないか。

４ その他

- 11月12日（日）にやまびこ日進の公開講座を開催予定。毎年２月に開催している。今年度のテーマはACPに関して、愛知県がんセンターの下山医師による講演を行う。日進市民だけでなく、東郷町の町民や医療介護関係者にもぜひ参加を。

以上